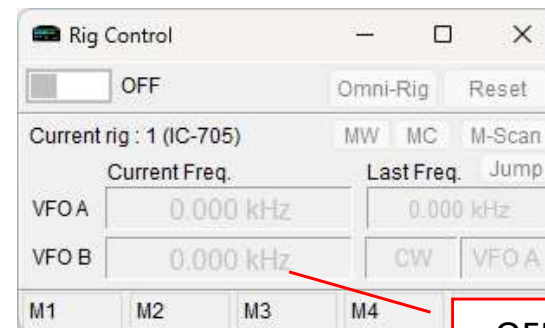
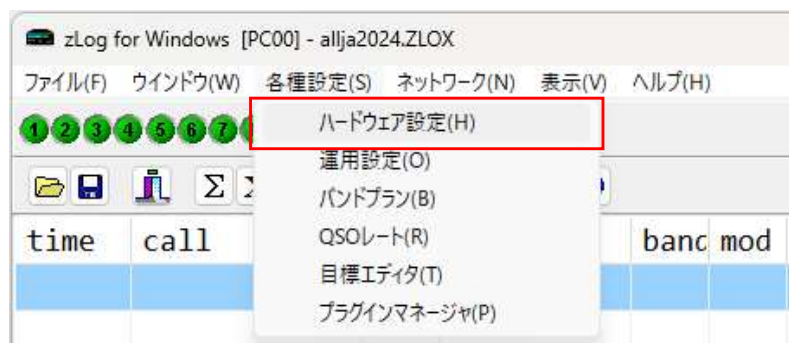


zLog リグコントロール 設定ガイド

対応バージョン: V2.9.1.0～

V2.9でのリグコントロール

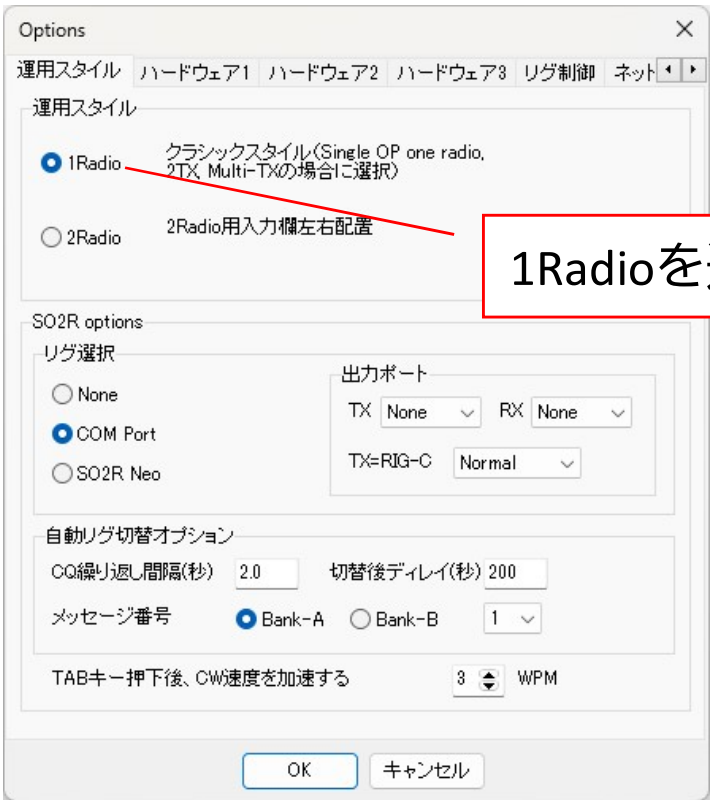
メインウィンドウ「各種設定」メニューの「オプション」を「ハードウェア設定」と「運用設定」に分けました。「ハードウェア設定」時はリグ制御とCW送信はできません。



OFFになる

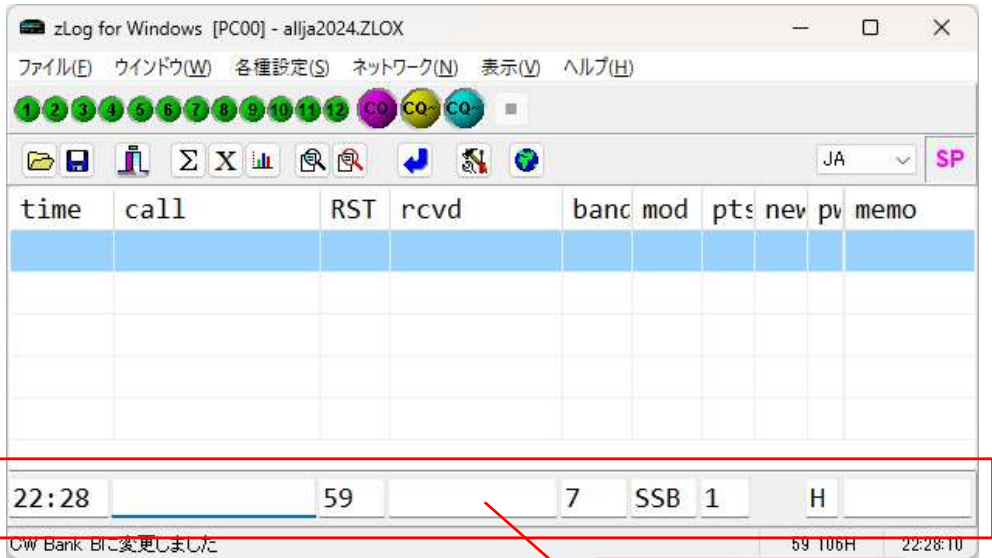
運用スタイルの選択

STEP1 – 運用スタイルの選択(1)



リグが1台の場合はこちらを選択します。
2TXやMulti-TXの場合もこちらです。
1PC – 1RIGになる場合です。
※STEP2-リグ設定を参照して下さい。

※SHIFT+X押下でRIG-A→RIG-B→RIG-Aと順に切り替わります。



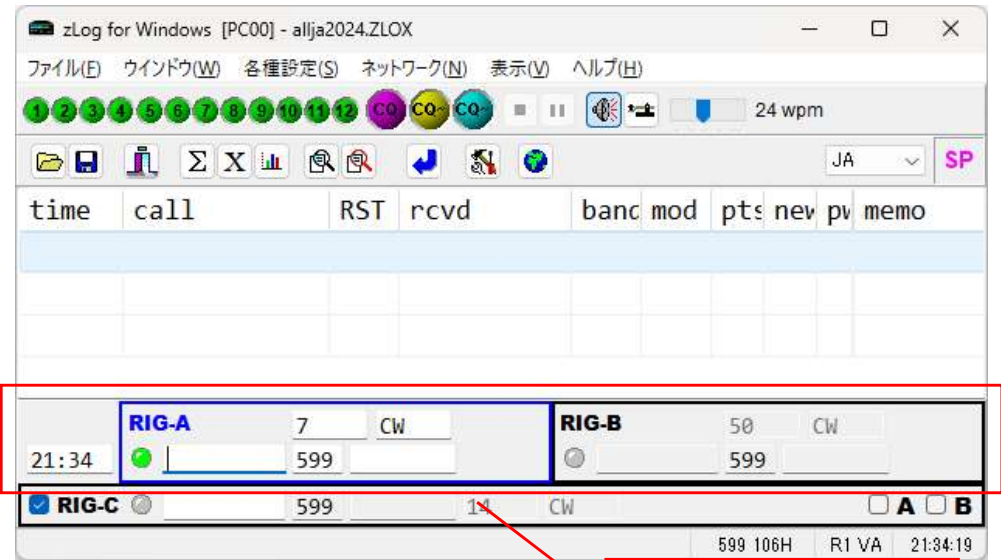
従来通り

STEP1 – 運用スタイルの選択(2)



二つのリグを使用する際はこちらを選択します。
1PC - 2リグの組み合わせです。
RIG-A/RIG-Bはリグ制御を行うリグ。
RIG-Cはリグ制御なしのリグです。

※SHIFT+X押下でRIG-A→RIG-B→RIG-C→RIG-Aと順に切り替わります。



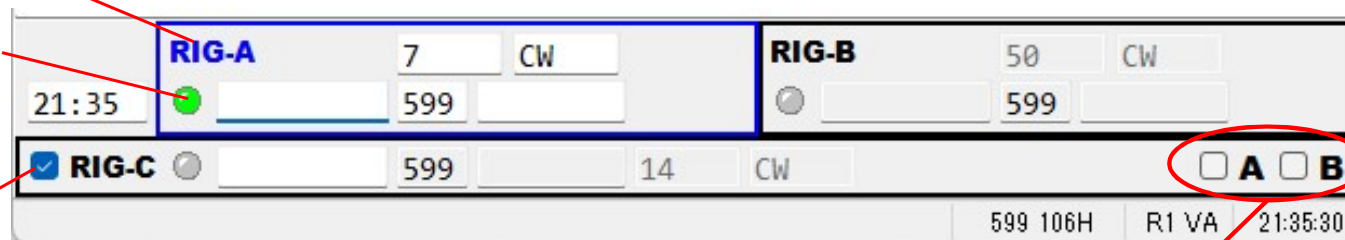
STEP1 – 運用スタイルの選択(3)

zLogの2Radioは、RIG-A,RIG-Bがリグコントロールを行うリグ、
RIG-Cはリグコントロールを行わないリグです。(V/Uのモバイル機など)
SHIFT+Xの操作で、操作するリグを切り替えます。
受信リグの切替はSHIFT+C、送信リグの切替はSHIFT+Vです。

青枠が受信リグです。

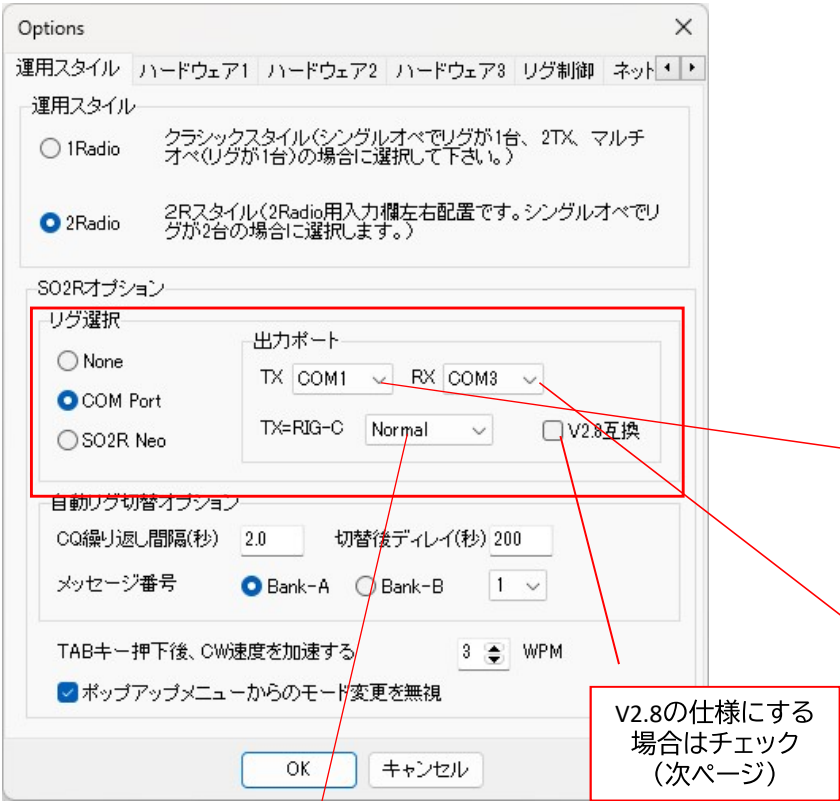
ランプ点灯が送信リグです。

チェックONで、SHIFT+X操作時にトグルする対象になります



RIG-CをRIG-AとRIG-Bのどちらに組み合わせるかを設定します。
両方ON又は両方OFF時は、RIG-A→RIG-B→RIG-Cの順にトグルします。
AをチェックONとした場合は、RIG-A→RIG-C→RIG-Aの順にトグルします。
BをチェックONとした場合は、RIG-B→RIG-C→RIG-Bの順にトグルします。

STEP1 – 運用スタイルの選択(4)



2Radio構成の場合、どのリグが選択されているかの信号を出力する方法を選択します。この信号に従って、切替BOXを駆動します。

- None・・・出力なし
- COMポート・・・COMポートのRTS/DTR信号に出力
- SO2R Neo・・・SO2R Neoにコマンド送信

TX

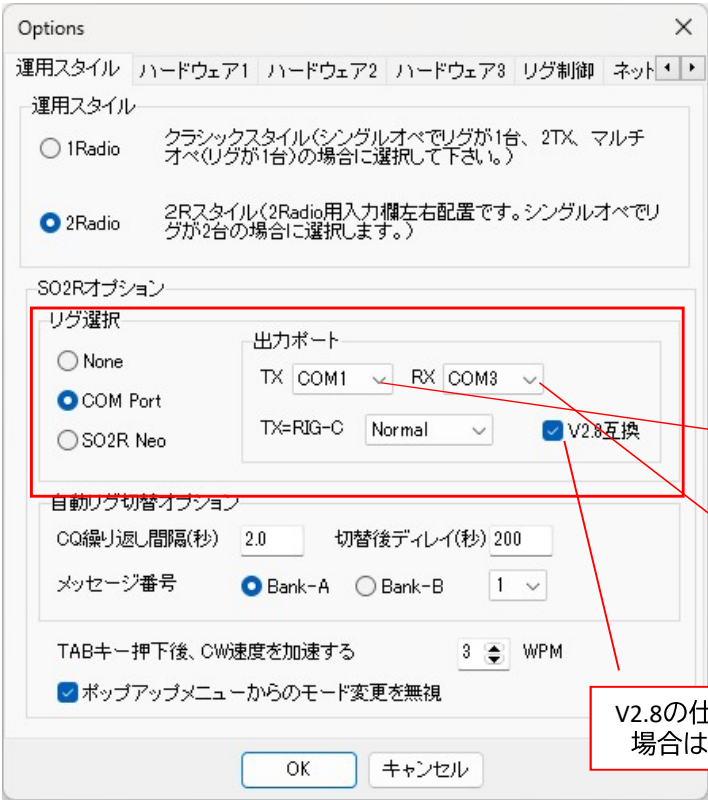
選択	DTR	RTS
RIG-A	OFF	OFF
RIG-B	ON	OFF
RIG-C	OFF	ON

RX

選択	RIG番号	DTR	RTS
RIG-A	1,3	OFF	
	2,4	ON	
RIG-B	1,3		OFF
	2,4		ON
RIG-C	RIG-Aが1,3	OFF	ON
	RIG-Aが2,4	ON	ON

RIG-C選択時の出力信号を設定できます。(右上のTX表参照)
Normal・・・RIG-C用の出力
RIG-A・・・RIG-Aと同じ出力
RIG-B・・・RIG-Bと同じ出力

STEP1 – 運用スタイルの選択(5)



v2.8仕様の場合のCOMポートへの信号出力は下表の通りです。

TX

選択	DTR	RTS
RIG-A	ON	OFF
RIG-B	OFF	ON
RIG-C	ON	ON

RX

選択	DTR	RTS
RIG-A	ON	OFF
RIG-B	OFF	ON
RIG-C	ON	ON

1 Radio運用

クラシックスタイル

シングルオペでリグが1台、2TX、マルチオペ(リグが1台)の場合

STEP2 - リグ設定

1Radioの場合は、下図の様にRIG-1,RIG-2,RIG-5が入力可能です。

従来と同様に入力します

Options

運用スタイル | ハードウェア1 | ハードウェア2 | ハードウェア3 | リグ制御 | ネット

RIG-1

リグ制御

COM5

通信速度

38400

リグ

FT-2000

キーイング

USBIF4

☐ XVT

設定

☐ PH時、KEYをPTTとする

設定

設定

RIG-2

リグ制御

COM3

通信速度

38400

リグ

TS-570

キーイング

USBIF4

☐ XVT

設定

☐ PH時、KEYをPTTとする

設定

設定

RIG-3

リグ制御

None

通信速度

19200

リグ

IC-705

キーイング

RIG

☐ XVT

設定

☐ PH時、KEYをPTTとする

設定

設定

RIG-4

リグ制御

None

通信速度

9600

リグ

None

キーイング

None

☐ XVT

設定

☐ PH時、KEYをPTTとする

設定

設定

RIG-5

キーイング

USBIF4

設定

OK

キャンセル

RIG-5は従来のVirtualRIGに相当します

STEP3 - バンド毎のリグ割当

1Radio時、RIG-AにはRIG-1, RIG-BにはRIG-2が固定で割り当てられます。
これで従来通りの運用が可能です。

Options

運用スタイル ハードウェア1 **ハードウェア2** ハードウェア3 リグ制御 ネット

RIG-Aへのリグ割当

	リグ	アンテナ
1.9 MHz	RIG-1	None
3.5 MHz	RIG-1	ANT2
7 MHz	RIG-1	ANT1
10 MHz	RIG-1	None
14 MHz	RIG-1	ANT2
18 MHz	RIG-1	None
21 MHz	RIG-1	ANT2
24 MHz	RIG-1	None
28 MHz	RIG-1	ANT2
50 MHz	RIG-1	ANT2
144 MHz	RIG-1	None
430 MHz	RIG-1	None
1200 MHz	RIG-1	None
2400 MHz	RIG-1	None
5600 MHz	RIG-1	None
10 G & up	RIG-1	None

RIG-Bへのリグ割当

	リグ	アンテナ
1.9 MHz	RIG-2	None
3.5 MHz	RIG-2	None
7 MHz	RIG-2	None
10 MHz	RIG-2	None
14 MHz	RIG-2	None
18 MHz	RIG-2	None
21 MHz	RIG-2	None
24 MHz	RIG-2	None
28 MHz	RIG-2	None
50 MHz	RIG-2	None
144 MHz	RIG-2	None
430 MHz	RIG-2	None
1200 MHz	RIG-2	None
2400 MHz	RIG-2	None
5600 MHz	RIG-2	None
10 G & up	RIG-2	None

OK キャンセル

リグ欄は変更できません

アンテナ欄は変更可能です

入力を簡便に行うために、
以降を全て同じ内容にできます。

zLog for Windows

!

以降のバンドも同じ設定に変更しますか？

はい(Y) いいえ(N)

アンテナ欄は変更可能です

2Radio運用

2Rスタイル

2Radio用入力欄左右配置です。シングルオペでリグが2台の場合

STEP2 - リグ設定(1)

「ハードウェア1」タブでは接続するリグの情報を設定します。
2Radio時、リグは4台まで設定可能です。

ポート設定

COM15

RTS: None

DTR: None

OK

キャンセル

#518 信号線の使用
目的を選択します。

None

PTT

KEY

常時ON

常時OFF

ハンドシェイク

#539 PHONEのPTTがCWと
違う場合にONにします。

Options

運用スタイル: ハードウェア1

RIG-1	RIG-2	RIG-3	RIG-4	RIG-5
リグ制御: COM15	リグ制御: COM16	リグ制御: COM17	リグ制御: COM18	リグ制御: COM18
通信速度: 19200	通信速度: 9600	通信速度: 9600	通信速度: 9600	通信速度: 9600
リグ: IC-705	リグ: IC-9700	リグ: IC-7851	リグ: IC-9700	リグ: IC-9700
キーイング: COM9	キーイング: USBIF4	キーイング: USBIF4	キーイング: USBIF4	キーイング: USBIF4
<input checked="" type="checkbox"/> XVT	<input type="checkbox"/> XVT	<input type="checkbox"/> XVT	<input type="checkbox"/> XVT	<input type="checkbox"/> XVT
<input type="checkbox"/> PH時、KEYをPTTとする	<input type="checkbox"/> PH時、KEYをPTTとする	<input type="checkbox"/> PH時、KEYをPTTとする	<input type="checkbox"/> PH時、KEYをPTTとする	<input type="checkbox"/> PH時、KEYをPTTとする
設定	設定	設定	設定	設定

OK

キャンセル

zLog for Windows

オフセット周波数を kHz で入力してください

0

OK

キャンセル

ポート設定

COM9

RTS: PTT

DTR: KEY

OK

キャンセル

キーイング

USBIF4

COM13

COM14

COM15

COM16

COM17

COM18

USBIF4C

RIG

#437 RIGのキーイング機能を利用するには
「RIG」を選択します。

STEP2 - リグ設定(2)

リグが1台や2台の場合はRIG-1から順に入力して下さい。

リグが2台の場合は、
このようにRIG-1とRIG-2
に入力します。

Options

運用スタイル ハードウェア1 ハードウェア2 ハードウェア3 リグ制御 ネット

RIG-1
リグ制御 通信速度 リグ キーイング
COM15 19200 IC-705 USBIF4 ☐ XVT
設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定 設定

RIG-2
リグ制御 通信速度 リグ キーイング
COM16 9600 IC-9700 USBIF4 ☐ XVT
設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定 設定

RIG-3
リグ制御 通信速度 リグ キーイング
None 9600 None None ☐ XVT
設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定 設定

RIG-4
リグ制御 通信速度 リグ キーイング
None 9600 None None ☐ XVT
設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定 設定

RIG-5
キーイング
USBIF4
設定

OK キャンセル

STEP3 - バンド毎のリグ割当(1)

2Radio時、「ハードウェア2」タブではバンド毎に使用するリグを割り当てます。
SHIFT+B押下時、バンドスコープからジャンプする際に、ここで設定したリグを自動的に選択し、
周波数／モードを設定します。
※フルに利用できるのはFDやACAGなど、1.9M-UHFまで使用するコンテストです。

「ハードウェア1」タブで設定したリグを選択します。

RIG-1に設定したHFのリグ

RIG-2に設定したV/Uのリグ

Options

運用スタイル

ハードウェア1

ハードウェア2

ハードウェア3

リグ制御

ネット

RIG-Aへのリグ割当

	リグ	アンテナ
1.9 MHz	RIG-1	none
3.5 MHz	RIG-1	ANT2
7 MHz	RIG-1	ANT1
10 MHz	RIG-1	none
14 MHz	RIG-1	ANT2
18 MHz	RIG-1	none
21 MHz	RIG-1	ANT2
24 MHz	RIG-1	none
28 MHz	RIG-1	ANT2
50 MHz	RIG-1	ANT2
144 MHz	RIG-2	none
430 MHz	RIG-2	none
1200 MHz	RIG-2	none
2400 MHz	RIG-2	none
5600 MHz	RIG-2	none
10 G & up	RIG-2	none

RIG-Bへのリグ割当

	リグ	アンテナ
1.9 MHz	RIG-3	none
3.5 MHz	RIG-3	none
7 MHz	RIG-3	none
10 MHz	RIG-3	none
14 MHz	RIG-3	none
18 MHz	RIG-3	none
21 MHz	RIG-3	none
24 MHz	RIG-3	none
28 MHz	RIG-3	none
50 MHz	RIG-3	none
144 MHz	RIG-4	none
430 MHz	RIG-4	none
1200 MHz	RIG-4	none
2400 MHz	RIG-4	none
5600 MHz	RIG-4	none
10 G & up	RIG-4	none

OK

キャンセル

入力を簡便に行うために、
以降を全て同じ内容にできます。



1R/2R共通

STEP4 - 各種追加設定

「ハードウェア3」タブでは使用するハードウェア毎の追加項目の設定を行います。
設定内容は従来通りです。

Options

運用スタイル ハードウェア1 ハードウェア2 ハードウェア3 リグ制御 ネット

ICOM CI-Vオプション

モード CI-V Transceive On 方法 周波数とモードを取得
応答タイムアウト(ms) 1000

CW/PTT制御

☒ PTT制御有効
送信前ディレイ(ms) 0 送信後ディレイ(ms) 50

USBIF4CWオプション

☒ WPM同期 ☐ Gen.3のマイク入力切替をする
☐ ハブドールを使用(V1, AMD-USB-KEY)

WinKeyerオプション

☐ WinKeyerを使う ☐ WK 9600bps ☐ 常に9600bpsで使用する
☐ 出力先選択する ☐ Speed Pot無視

OK キャンセル

K3NG Arduino CW Keyerを使用
する場合で9600bps固定と
なっている時に選択します。

STEP5 – リグ制御オプション

「リグ制御」タブではリグ制御について追加の設定を行います。
内容については従来通りです。

#571 リグコマンドでPTT制御
を行う場合にONにします

#589 リグとWPM同期を
行う場合にONにします

Options

運用スタイル | ハードウェア1 | ハードウェア2 | ハードウェア3 | **リグ制御** | ネット

全般

☐ QSO確定後RITクリア

☐ 2台のリグを同じバンドにしない

☒ 運用周波数を記録する

☐ バンドスコープ自動作成

現在周波数をZ-Serverに送信 秒毎

☐ リグのモードを無視する

☐ PTTコマンドを使用する

☐ WPM同期を行う

スリープモード

☒ スリープ時はOFFにする

☐ 再開時はONにする

メモリスキャン

スキャン間隔 秒

Magical Calling

☒ 使用する

最大シフト幅 +/- Hz

CQ Mode

☐ RIT OFF

☒ XIT OFF

☐ RIT/XIT Clear

S&P Mode

☒ XIT ON (bandscope)

☐ XIT ON (VFO)

☐ CQを中止

☐ 自動キャンセル

OK

キャンセル

#525 メモリスキャン間隔を変更します

メモリースキャン

現在使用中のリグでは無い場合、バックグラウンドで順にメモリーした周波数をスキャンする機能です。

設定1

RIG-1とRIG-2を使用し、RIG-2でメモリスキャンを行う場合の設定例です。

Options

運用スタイル ハードウェア1 ハードウェア2 ハードウェア3 リグ制御 ネット

RIG-1

リグ制御 通信速度 リグ キーイング

COM5 38400 FT-2000 COM6 ☐ XVT

設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定 設定

RIG-2

リグ制御 通信速度 リグ キーイング

COM8 9600 IC-736 COM6 ☐ XVT

設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定 設定

RIG-3

リグ制御 通信速度 リグ キーイング

None 19200 IC-705 COM6 ☐ XVT

設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定 設定

RIG-4

リグ制御 通信速度 リグ キーイング

None 9600 None COM6 ☐ XVT

設定 ☐ PH時、KEYをPTTとする 設定 設定

RIG-5

キーイング

COM6 設定

OK キャンセル

Options

運用スタイル ハードウェア1 ハードウェア2 ハードウェア3 リグ制御 ネット

ICOM CI-Vオプション

モード CI-V Transceive Off (Polling) 方法 周波数とモードを取得

応答タイムアウト(ms) 1000

CW/PTT制御

☐ PTT制御有効

送信前ディレイ(ms) 0 送信後ディレイ(ms) 50

USBIF4CWオプション

☒ WPM同期 ☐ Gen.3のマイク入力切替をする

☒ バドルを使用(V1, AMD-USB-KEY)

WinKeyerオプション

☒ WinKeyerを使う ☒ WK 9600bps ☐ 常に9600bpsで使用

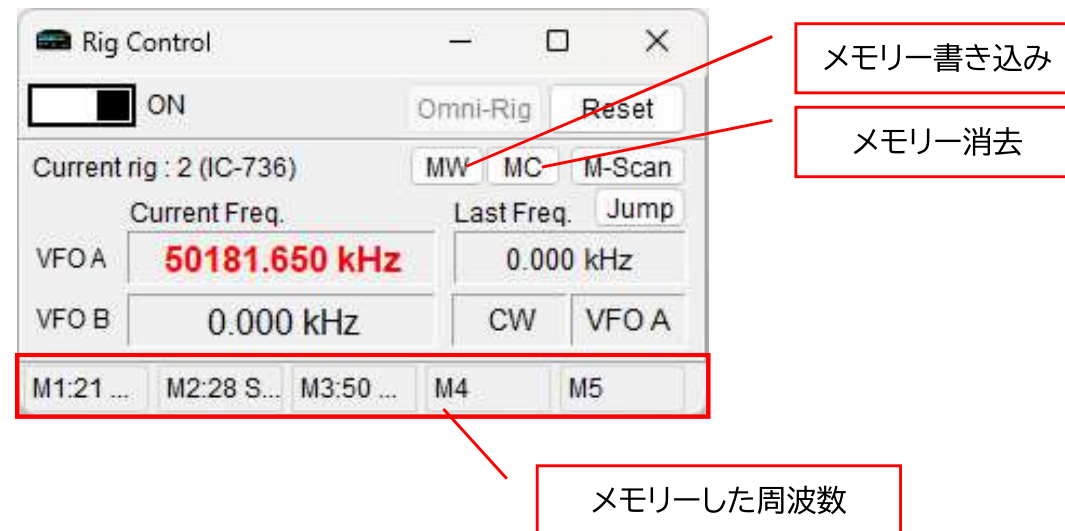
☐ 出力先選択する ☒ Speed Pot無視

OK キャンセル

CI-V Transceive Off (Polling)にする

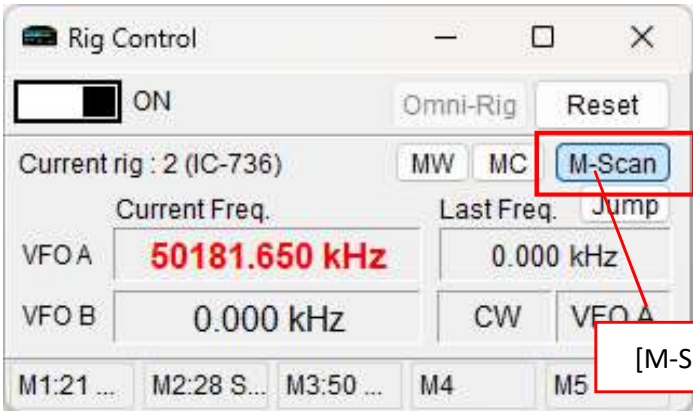
設定2

- スキャンする周波数をメモリーします。
 - RIG-2で周波数を合わせて、[MW]をクリック
 - M1～M5を選択する
 - クリアするには[MC]をクリック

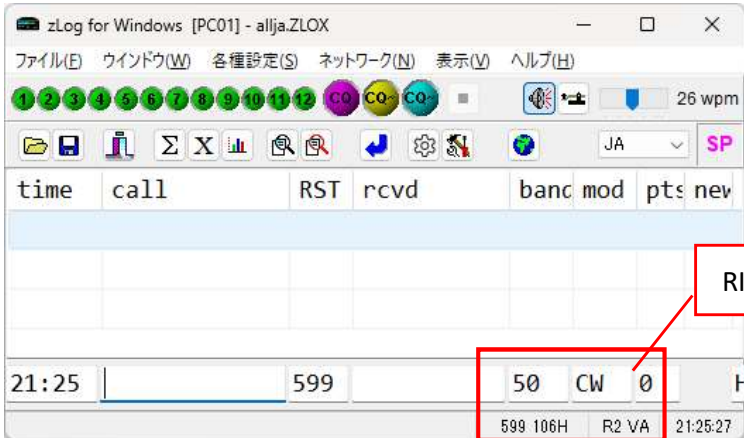


設定3

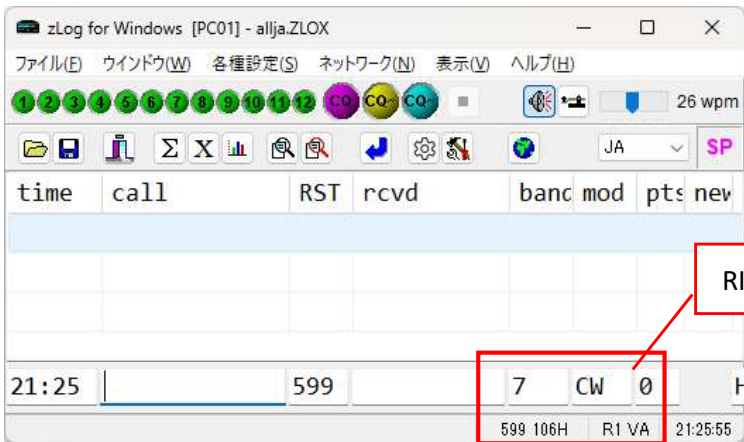
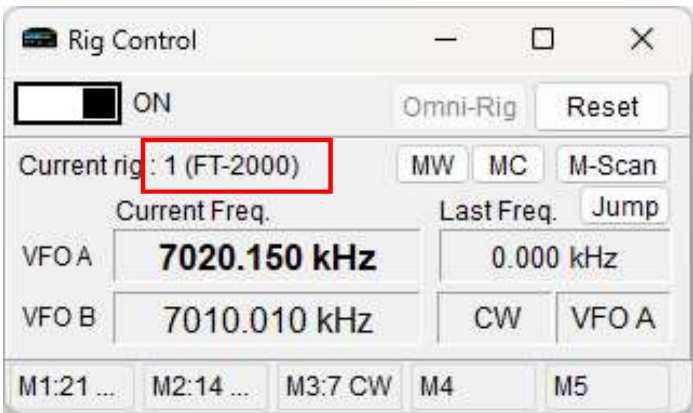
メインウィンドウに戻り、SHIFT+XでRIG-1に変更。



[M-Scan]を押下



SHIFT+Xを押す。



RIG-1が表になると、裏でRIG-2のメモリスキャンを開始します。